

令和3年5月26日

文化庁長官  
都 倉 俊 一 様

日本博物館協会  
会長 銭谷 眞美  
(公印省略)

## 博物館が持続的に社会的役割を果たすために(お願い)

日頃より、博物館施設の運営にご支援を賜り、誠に有難うございます。また、新型コロナウイルス感染拡大により深刻な影響を受けている博物館に対し、ご支援をいただいておりますことに改めて感謝申し上げます。

博物館は、図書館等の文化施設と同じく、人々の日常生活に欠かせない社会教育機関として重要な役割を果たしています。

今般のコロナ禍の下では、各博物館が当協会のガイドラインを遵守し、利用者・職員の安全を最優先に、万全の感染拡大予防対策を実施して運営に当たっており、公共文化施設としては、高い安全性が確保されているところです。

現在、緊急事態宣言等の下で多くの博物館が休館状態にあり、経営面で非常に厳しい状況に置かれております。また、一方で利用者からは、博物館の社会的役割を果たすために1日も早い再開を求める声が多く寄せられております。

こうした状況を踏まえ、博物館の状況についての概要を別添資料でお伝えさせていただくとともに、今後、緊急事態宣言等の状況下における博物館の取扱いについては、万全の感染拡大予防対策を講じることを前提に、でき得る限り開館してその社会的役割を果たせることができるよう、特段のご配慮をいただきたく、何卒よろしくお願い申し上げます。

## ● コロナ禍での博物館の現状

- ・2020年4月の緊急事態宣言の下で、全国の博物館の約9割が一定期間の休館を余儀なくされたと推測され、今回の緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の発令下では、対象地域を中心に1,000を超す施設が休館措置を実施していると推測されます。
- ・当協会のアンケート等によると、2019年と2020年の比較で、博物館は、開館日数が約20%、入館者が約60%、入館料収入が約55%減少し、経営的に非常に厳しい状況が続いています。
- ・休館中に多くの博物館が、その社会的役割を果たすために、オンライン環境を活用した新たな情報発信に取組み、今もその充実に精力的に取り組んでいます。
- ・再開後、博物館の現場では、感染予防ガイドラインを遵守し、利用者・職員の安全確保を最優先に運営を行っており、施設特性に起因するクラスター等、感染拡大に悪影響を及ぼす事例は発生していません。

## ● 博物館は人々の日常生活に不可欠な社会教育施設です

- ・博物館は、宇宙や地球、生物、そして人類の足跡を収集・保管し、調査研究によって情報化し、社会に発信し、今を生きる人々と共有し、未来を考える糧として活用し、新たな感性を育み、次世代に生きる人々に大切に受け継ぐことを目的とする施設で、今を生きる人の幸せと未来を考える縁(よすが)として、欠くことのできない社会基盤です。
- ・博物館法による博物館は、社会教育機関として、総合、歴史、美術、自然史、科学、動物、水族、植物、天文等、多様な施設から構成される文化施設で、市民・利用者の社会教育、生涯学習、豊かな感性の創造に欠かせない機能を果たしています。
- ・博物館は、人々の日常生活の中で開かれた状態でその役割を果たすことにより、今般のコロナ禍という困難な社会状況の中でも、不確実な今後への不安に満ちた時代に生きる人々に対し、前向きに生きるために必要な感動や安らぎを得る場を提供し、さらに新たな創造につながる情報を提供することで、安定した感情の維持や知的活動の充実に助け、「心の健康」の維持を支援することができます。
- ・博物館は、施設への入館者数等が制限されている状況でも、オンラインやデジタル技術等を補足的に活用することで、施設を訪れることのできない人々にも情報を提供することができます。
- ・コロナ禍の状況において博物館は、来館が難しい広い層の利用者への多様な情報提供を行うとともに、来館してリアルな時間を過ごすことで不安な心を癒し元気を得ることができる人々のために、確実な感染予防対策を講じることを前提として、でき得る限り施設が開かれた状態を維持し、人々の日常生活に寄り添った活動を継続することが、非常に重要であると考えます。

## ● 博物館は安全な施設です

- ・コロナ禍が続く状況の中で、博物館は、「博物館における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」を基本に、それぞれの施設の規模・特性を踏まえ、入館者と職員の安全確保のため、施設への入場者・イベント参加者数の制限をはじめ、展示室内の換気、

消毒、密にならない鑑賞方法等、さまざまな観点から運営上の感染予防対策を実施し、公共文化施設として安全な運営環境を確立しています。

## ●「博物館を止めない」ための継続的な支援のお願い

- ・前述のように、博物館は、コロナ禍が続く中で、その社会基盤としての機能を維持すべく、万全の感染予防対策を講じながら運営を続けており、運営上の規制を実施せざるを得ない状況においても、開館し続けることは博物館にとって非常に重要です。もちろん、感染予防の徹底と感染者数の抑制は最重要課題ではありますが、博物館を休館しなければならない状況は、緊急事態等の制限下においても、あらゆる対策を講じ極力回避し、人々の日常に開かれた状態で、その機能を維持できるようご配慮をお願いいたします。
- ・入館者数の減少に伴う入館料収入の激減、継続的な感染予防対策が求められる中で、感染予防対策、休館等による減収補填、日時指定予約システムやキャッシュレス化の促進等、厳しい博物館の運営環境の改善に対する支援の充実を引き続きお願いいたします。
- ・今後も博物館が持続的にその役割を果たすためには、新しい情報発信の促進に必要な情報のデジタル化や、さまざまな博物館がそれぞれの情報を発信することのできるプラットフォームの整備、そして規模や館種を超えた博物館の共助の仕組みを支えるネットワークの構築等が不可欠であり、引き続き積極的なご支援をお願いいたします。
- ・日本博物館協会としても、さまざまな館種組織等との連携の下に、現場の博物館とともに、博物館の社会的役割を果たすべく一層の努力を続けていく所存です。文化庁におかれましても、引き続きのご支援を賜りたく改めてお願いいたします。